

■宝塚市立病院内視鏡センターの教育

新研修医制度の導入後消化器内科や消化器外科は、約2ヶ月のローテーションになりました。そのため本格的な内視鏡の研修は卒後 3 年目の後期研修からとなっています。内視鏡業務は各科ごとではなく、内視鏡センターとして一元化した運営をおこない、内視鏡研修も当センターにて行なっています。研修医は、まず内視鏡モデルを用いた研修を行います。それと同時に指導医の検査を見学して、内視鏡所見を記録します。次に指導医のもと、リスクの少ない上部内視鏡検査より研修を始めている。研修医の行なう症例は、鎮静を行い、最初は幽門部の観察より開始しています。そして一応の胃内の観察ができるようになってから内視鏡の挿入を行なうようにしております。上部内視鏡研修開始のほぼ同時期より大腸内視鏡の研修を始めています。大腸内視鏡研修は、盲腸挿入後の観察から開始している。私達は、内視鏡挿入後の胃内の観察や大腸内視鏡の抜去での合併症はきわめて少ないと考えております。このように早期より内視鏡研修を始めることにより、内視鏡を自分で操作し、診断する事が可能になります。この事によって研修への意欲が上昇し、上達も早くなります。研修3年目には、スクリーニングの上部内視鏡、大腸内視鏡挿入率95%、簡単な緊急内視鏡、ポリペクトミー、EVL&EIST(内視鏡的硬化療法、内視鏡的静脈瘤結さつ術)、ERCPができるように努力しております。研修4年目には、ダブルバルーン小腸内視鏡検査、5年目には内視鏡専門医の取得を目標にしています。また研修医には、学会発表、論文作成も指導しています。最近急速に多様な内視鏡手技が開発され、すべての手技を一人でマスターするのは不可能になってきました。新たな手技を習得するためには、学会やセミナー等がありますが、もちろんそれだけでは不十分です。そのため他施設での研修(見学中心)や指導医の招聘(実地指導)でその問題を解決しています。またできる限り、医師だけではなくスタッフも参加しています。しかし勤務時間内に頻繁に他院の指導医を招聘ことは現実問題として困難であるので、見学は指導医の施設に見学に行き、実地指導のみに来院してもらうようにしております。今後新たな手技がどんどん開発される事が予想されるが、このような方法で新規導入の予定です。また内視鏡検討会は週に 1 回開催され、各科医師および内視鏡技師により内視鏡診断や治療方針の検討が行なわれています。症例検討と同時に内視鏡教育も行なわれています。内視鏡センターは、内視鏡検査を統合して一貫した治療ができる事を目的に発足しました。当院は、地域基幹病院として地域医療に役立つ医療を実践しています。当病院の理念の下診療、教育、臨床研究に従事している。最近の内視鏡医療の進歩により各種内視鏡による診断、治療の技術開発は活発です。

早期の内視鏡教育のために症例数は、**R3(卒業 3 年目)で600 例、R4 で800 例、R5 で600 例**の症例を目標にしています。**R4** で、症例数を最大にするようにしている。**R5** では、**ERCP**や**DBE**が増加し、研修医の指導も担当するために症例数は、減少する事になります。多くの症例を確保できるのは、鎮静剤の使用や二酸化炭素の送気装置の導入が助けになっております。宝塚内視鏡学校と呼ばれるように努力してゆく考えです。

■宝塚市立病院内視鏡センターの将来

現在一番大きな課題は、人の育成です。研修病院として、高度医療、臨床研究と並んで内視鏡教育は、重要な課題です。当センターは、未だスーパーローテートの研修医、他院からの研修、学生の臨床実習に対して、レジデントのような一貫したプログラムができておらず、手探りの状態です。今後この問題を解決し、効率的な内視鏡研修を提供してゆくの、社会的な責務と考えております。そのように育成した人材により、効率的な救急医療を中心とした質の高い医療を宝塚市民に提供するのが、使命と考えております。

当センターでは、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸と全消化管内視鏡検査を目指しています。消化管出血に対する緊急内視鏡は、常に対応できるようにしています。上部及び下部内視鏡検査と同じように緊急小腸内視鏡検査がルーチン検査になる時代になってきております。止血処置も食道、胃、大腸それに小腸にも対応し、宝塚市民の皆様の要請に応えたいと考えています。各種内視鏡検査は、緊急性や生活スタイルに合わせ柔軟に対応いたしますので外来にて、御相談下さい。

当院では、若い人材の育成に最も力を入れております。人材育成なくして、病院そして宝塚の未来はありません。医師（医学生、研修医、レジデント、スタッフ）、内視鏡技師（臨床検査技師）、学生等の見学を歓迎しております。消化器内科では、レジデント、スタッフの常勤医師を常時募集しております。経営統括部までお問い合わせください。夢を実現できる病院になるように努力する覚悟です。

